

授業改善推進チーム活用事業 取組の紹介

～ 「子どもに寄り添う指導・支援の充実」を目指して～

授業改善推進チーム活用事業とは

授業改善推進チーム活用事業は、教科指導における豊富な経験や実践的指導力を有する授業改善推進教員が「チーム」となり、地域全体の授業改善に取り組むことを目的とした事業です。

函館市では中学校数学チームは令和2年度から、市内16校の中学校を訪問し、数学の授業改善を中心に組みんでまいりました。

また、小学校ICTチームは令和3年度から、連携校の函館市立弥生小学校、函館市立千代田小学校、函館市立大森浜小学校を訪問し、学習用端末を活用した授業改善の方策について組みんでまいりました。両チームとも、今年度で終了となりますが、それぞれの取組について紹介します。

中学校数学チーム

函館市立本通中学校 永吉 幸平教諭
函館市立港中学校 能登はるか教諭

- ◎ 筋道を立てて説明するなどの言語活動を取り入れた授業を実践
 - ・ 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動
 - ・ 学習用端末を活用した対話的な学びを取り入れた活動
 - ・ 授業の終末に、文章にして生徒自身が振り返ったりまとめたりする活動



- ◎ 身に付けさせたい力を明確にした授業づくり
 - ・ 本時のねらいに正対した学習活動を位置付け、評価規準との関連を図る。
 - ・ 子どもが授業の導入で学習の見通しをもち、必要感のある「課題」を提示する。
 - ・ 指導と評価の一体化となる「振り返り」を行う。



子どもたちが小学校でどんなことを学んできたかを、教師が理解しておくことも大切です。

小学校ICTチーム

函館市立あさひ小学校 中里 敦教諭
函館市立北昭和小学校 高谷 智史教諭

- ◎ 学習用端末を活用した授業づくり
 - ・ 子ども同士が、端末を活用し、互いの考えを参考にして考えたり、多様な考えを知り自分の考えを広げたりすることができる。
 - ・ Google アプリを学習活動に応じて活用することで、効果が期待できる。特に、Jamboard は活用範囲が広く、どの教科でも工夫できる。
 - ・ 授業の導入に、前時の振り返りとして、AIテキストマイニングを活用すると焦点化することができる。



- ◎ 学習用端末を活用した家庭学習
 - ・ 学校全体の取組として、学習用端末を持ち帰り、家庭学習に活用する事例を実践（授業の続きに取り組んだり、探究したりする学習等）